

知的財産法事例研究 中山ゼミ

★ゼミの内容



前期

先生が用意した相談事例形式の問題をもとに、2回にわたりて議論を行います。

1回目では、事例を検討するための基本的な法的ポイントを確認し、2回目では相談者の主張が認められるかどうかを、相手側の反論も踏まえて考えて考えていきます。

後期

3年生の就職活動も意識しながら、各業界で実際に起こりやすい知的財産法の問題をテーマに取り上げます。企業の知財部見学や、ゲストスピーカーによる講義など、実務に触れる機会もあります。

★ゼミの魅力

・実務に近い学びができる

中山先生は弁護士としても活躍されており、知的財産法に加えて、実際のビジネスで関わるさまざまな法律を学ぶことができます。教科書だけでは分からぬ“現場の視点”を身につけられるのが大きな魅力です。

・判例を「使う力」を身につける

授業は「相談事例をどう解決するか」という実践的な形式で進められます。単に判例を調べるだけでなく、それをどのように活用するかまで考えることで、より深い法律理解が得られます。

・身近なテーマで法律を考える

エンターテイメント業界など、実際の社会で起こりそうなトピックを扱うことも多く、将来の仕事に役立つ知識を楽しく学ぶことができます。

・プレゼン力・議論力が磨かれる

ゼミでは、「法務部の職員にならって役員会で報告する」といった設定でプレゼンテーションを行います。他のゼミ生からの質問にも答えることで、プレゼンテーション能力やディスカッション能力が自然と鍛えられます。

・多角的に考える力が身につく

知的財産法だけでなく、関連する他の法律とのつながりを意識して考えるため、法的な思考力が総合的に養われます。内容はやや難しい部分もありますが、努力した分だけ確かな力がつくゼミです。

著者：鈴木・高西・市岡